第 84 号　　Newsletter 2026. 7.15

香芝市国際交流市民の会

# グローバル香芝

*The International Exchange Society, "Global Kashiba"*

**あの留学生は今㊻ …　イェートゥー　さん （ミャンマー）**

## 念願の2度目の留学を果たして

こんにちは。イェートゥーと申します。私は現在、筑波大学の研究留学生として日本語教育に関して研究を進めています。

私が日本語を勉強し始めたきっかけは、こどもの頃に野口英世の伝記を読んだことです。野口英世の生き方に感銘を受け、日本や日本文化に興味を持ちました。そして将来の目標は大学の先生になることで、日本語教育や日本語学の研究も続けたいと思います。

留学は今回で2度目で、1度目は2年前の大阪教育大学の時です。今もその時の楽しみや悩み、友情、出会い、いろいろな想いが頭に浮かび、懐かしく感じます。この時の経験は、自分の長い間の夢を実現できる鍵となりました。

当時の私にとって、さらに日本の大学院に進学することも目標でした。お金を節約し、アルバイトでお金を貯めることにしたので、他の留学生が旅行などに誘ってくれても、時間の余裕もなく、ほとんど参加できませんでした。みんなとの距離を感じ、少しずつ寂しくなりました。

そんな私にとって、気軽に話せる友人として支えて下さったのは『グローバル香芝』の皆さんです。悩みの相談に乗って貰ったり、家族のように一緒にゲームをして笑ったり、知りたいことや学びたいことについていろいろ調べて教えて下さったり、今思い返すだけでも温かい気持ちになります。皆さんのお誘いで、和服や浴衣を着たり茶道を体験したり、またホームビジットにも参加できました。ある時は子どもたちにミャンマーのことを紹介し、英語を教える体験ができました。

その後ミャンマーに戻り、大学に通いながら国費研究留学に再度応募しました。ミャンマー大使館によると、大使館推薦で2度目の奨学金を得たのは私が初めてであり、卒業見込みとして選ばれたのも初めてだそうです。

筑波大学に来てからも、大阪へ行きたいと思い続け、やっと連休に先生方や皆さんと再会し、お礼が言えて本当に嬉しかったです。

やはり言葉が異なり、周りに親しい人もいない外国では、話せる相手がいることは本当に大切だと思います。グローバル香芝は、単に外国人の言語能力を向上させるだけでなく、文化や人と人とのつながり、触れ合いのギャップを埋める大切な存在です。積極的に努力されている皆さんの姿に「人生の価値は何を得るかではなく、何を残すかにある」という言葉が自然と浮かびます。私も今後、日本語教育や国際交流を通して、誰かの支えになれるよう努力していきたいと思っています。

**★大阪教育大学　後期修了式に参列**　TOPIC

グローバル香芝は 30 年以上、大阪教育大学国際課を通じて、毎週「日本語クラブ」の講座を持ち、日本の様々な文化や観光、日常生活等について留学生の皆さんと楽しく交流させて頂いています。2月13日（金）に行われた大阪教育大学の2025年度・後期留学生（13名）の修了式にグローバル香芝が招かれました。会員11名が参列し、祝辞を述べました。

**★市民図書館と国際交流 in 香芝**

## マレーシアの ‘じゃんけん‘に挑戦

大型絵本ではらぺこあおむしの朗読

2016年から始めた「国際交流 IN 香芝」を3月1日（日）にふたかみ文化センターで行いました。大阪教育大学留学生と在住外国人らで7カ国（ミャンマー、ベトナム、ネパール、アメリカ、カナダ、中国、マレーシア）のブースを設けました。

今回は香芝市民図書館と共催でした。会場には、関係する国の地図や旅行記等資料が並べられました。まず、絵本の読み聞かせで「はらぺこあおむし」を図書館職員が日本語で朗読し、続いて英語とベトナム語でも各国の出身者が朗読しました。

その後は各国のブースでその国を紹介し、参加いただいた市民の質問に答えてもらいました。未知の国の生活体験者から直接聞ける海外事情であり、皆さん興味深く対話されていました。

中間には、参加者全員で、英語とマレーシア語による“じゃんけん大会”を行い、大いに盛り上がりました。（鈴木）

**★FM ヤマト「輝け大和人」 2度目の出演**

## 国際交流は身近なことから

2月17日（火）FM ヤマトの番組『輝け大和人』にグローバル香芝から 3 人で生出演しました。私は初出演で緊張しましたが、パーソナリティの小田さんの温かなリードのおかげで、楽しくお話できました。番組では、外国にルーツを持つ方々との交流や子どもたちへの支援、そしてこれからの地域に求められる多文化共生について話しました。

グローバル香芝では、国籍や文化の違いを越え、地域で暮らす人々が互いに理解し合い、支え合える関係づくりを目指しています。その活動の一つとして、外国にルーツを持つ子どもたちや外国人住民への日本語支援、生活相談を行っています。中でも私が今まで主にしてきた事は、転入してきた子どもたちの日本語や学校の授業、日々の生活、友人関係などの支援です。そうした中で、安心して質問でき、温かく見守ってもらえる場所があることは、とても大切です。「ここに来てもいい」「自分のことを気にかけてくれる人がいる」と感じられる居場所は、子どもたちだけでなく、保護者にとっても大きな支えとなっています。

国際交流は特別な人だけが行うものではありません。あいさつを交わし、相手の文化や習慣に少し関心を持ち困っている人に声をかけること。そうした日常の小さな関わりが、地域に温かなつながりを生み出していきます。

ラジオ出演を通じて、国際交流は誰もが参加できる身近な地域活動であることを改めて感じると共に、香芝のまちに温かな交流の輪が広がることを願っています。 （野口）

**★第3回　日本語支援ボランティア講座**

## 子どもの日本語と母語　どちらも大切

2月15日(日)午後、香芝市中央公民館で、今期3回目の日本語支援ボランティア養成講座を開き14人が参加しました。今期を締めくくる講座は『子どものサポートと具体的な日本語学習支援方法』がテーマでした。日本に働きに来た外国人の子どもたちや、外国にルーツをもつ子どもたちへの様々な支援方法を実際の事例を通して学びました。樋口先生の、ていねいで明快な講義や、グループのワークショップによって、しっかり学ぶことができました。また、外国から来た子どもたちにとっては、日本語を学ぶ以前に、家庭での母語による学力育成が大切なことなどもわかり、とても有意義な講座でした。（豊永）

**★会員懇親会を開催**

## 青空の下で未来を語り合う

すばらしい眺望で懇親会

５月１６日、この時期とは思えない暑さとなった一日、今年は会員の自宅で定例会を兼ねた懇親会を開きました。素晴らしい景色の中、美味しい料理を囲みながら、和気あいあいとした雰囲気で会員同士の交流を深めることができました。少人数ならではの距離の近さもあり、ゆっくりとそれぞれの人生経験や想いを語り合う温かいひとときとなりました。また、これからの国際交流のあり方やグローバル香芝の未来についても率直に語り合い、想いを共有する良い機会となりました。今後もこのような交流の機会を大切にしていきたいと思います。（安国）

**★春季ホームビジット**

## お互いにすてきな一日に

粉物を作って食べたグループ

５月３０日（土）香芝市中央公民館に留学生８人とホストファミリー８組が集まり、その後それぞれ各家庭で交流しました。一部、感想を紹介します。

**Ｙさん　インドネシア**

すごく楽しかったです。ご家庭で農園を見せてもらったり、一緒に（仏教の）お祈りの体験もしました。五月人形はとてもかっこよかったです。ごはんの温め方とかも教えてもらいました。できて当たり前のことだから他人に聞いてはずかしいと思っていましたが、二人とも優しく接してくれました。晩ごはんは量が多くて食べきれませんでしたが口に合って、とても美味しかったです。残ったものは包んでもらって持って帰りました。とてもお世話になり、これからも交流したいです。

ホストファミリーと一緒の写真を
イラストタッチに：Ｙさん作

**Ｔさんファミリー（ホスト）**

日本家屋に興味を示され、たくさん写真を撮っていました。日本の家庭料理は、初めてのようでしたが、すべて食べられましたのでホッとしました。いろんな事を話し、インドネシアの現状も教えていただきました。時間が足りないほどで、引き続き交流を深めたいと思っております。

**Ｋさん（ベトナム）**

たくさんの素敵な体験でした。自分で団子を焼いたり、おにぎりを握ったりしたのは初めてで、とても楽しかったです。初めて食べた梅干しは酸っぱかったけれど、新しい味を味わえて嬉しかったです。みんなでワイワイ言いながら作ったたこ焼きは、格別に美味しかったです。

家族で一緒におしゃべり

ホストファミリーの皆さんは本当に優しく、温かく私を迎えてくださいました。特に、お子さんたちと一緒に遊べたのがとても嬉しかったです。エネルギーいっぱい元気に走り回る姿に、私もたくさんの元気をもらいました。

**〇さんファミリー（ホスト）**

古民家カフェで、みたらし団子を焼く体験をしました。Ｋさんの一人旅の話を聞かせてもらい、異国に来て、自分でプランを立て実行する行動力に驚きました。我が家では、将棋の山崩し、カードゲームなどで子供達と触れ合ってくれました。おにぎりを作ったことがないというので作ってみました。昆布、しゃけ、梅干しの三種類で、梅干しは初体験だったようです。酸っぱいものはわりといけるようで、食べられることに驚いていました。三角に形を作るのは難しかったようですが段々とコツを掴んで上手に作ってくれました。

## ー メンバー ひとりごと 82 ー

**岡本和英**

昨年 6 月に三重県亀山市から夫の実家の御所市に引っ越してきました。
三重県で日本語ボランティアに出会い、亀山と鈴鹿で 15 年余り活動してきました。亀山市は外国人の割合が5%を超えます。技能実習生も多いですが、南米系の定住外国人も多く暮らしています。私が参加していた教室は、レベル毎に3クラスの授業形式でした。レベル順に ABC で、A では平仮名カタカナ、カレンダーや値段など数字に関すること、簡単な動詞・形容詞、位置詞など。B では「て形」に始まり、「た形」「ない形」など文法を基にし、C は JLPT の学習などをマンツーマンに近い形でしました。共通で防災学習もありました。各クラス学習者が 8 名程度、スタッフ 5～6 人、私自身は長く A クラスで、ほとんど話せない・読めない・書けない学習者を担当していました。

当時スタッフと大切にしていたことがあります。時々使用していたテキストからです。「教えるのではなく教えてもらうことを心掛けるように。日本のことを知ってもらうばかりではなく、彼らの国や彼らのことを教えてもらうという姿勢でいることで彼らは話すのです。」

スマホがあれば翻訳は超簡単、何も困りません。そんな時代に、地域の日本語教室は何ができるか、何をすべきか大きな問題ですが、学習者はせっかくの休みの時間に教室に来ます。何か一言でも「今日はこれが喋れた！」と感じて帰ってもらいたいです。帰る時の彼らの表情が楽し気だとこちらも嬉しくなります。それを見るために日本語ボランティアにもう少し関わっていきたいと思っています。

＊次は　向居未枝　さんです。

**香芝市在住外国人数**（34ヵ国　823 名）　　**2026年5月31日現在**

アメリカ：17、アルゼンチン：1、アイルランド：1、イギリス：6、インドネシア：37、オーストラリア：4、カナダ：3、カンボジア：7、韓国：177、コスタリカ：1、シンガポール：1、スペイン：2、スウェーデン：1、スリランカ：3、セルビア：1、タイ：30、台湾：13、中国：105、朝鮮：3、チリ：1、トルコ：2、ネパール：62、パキスタン：12、ブラジル：15、フィリピン：40、ブータン：1、フランス：3、ブルガリア：4、ベトナム：213、ペルー：2、ミャンマー：50、メキシコ：1、モンゴル：3、ロシア：1

◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。
語学力や国籍に関係なく、どなたでも入会することができます。

〈会　費〉 個人会員　年間　3,000 円 ／ 賛助会員（団体）　年間　10,000 円

〈月例会〉 日　時：毎月　第三日曜日(8/16、9/20、10/18、11/15、12/20)　10:00～12:00

場　所：香芝市中央公民館

◆ 申し込み・問い合わせ先

・香芝市役所　地域振興課：（☎：0745-44-3314，Fax：0745-78-3830）

・グローバル香芝：河合 貴之（💌：turkey913@gmail.com）

e-mail:　nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp　までお気軽にどうぞ！

◆ ホームページアドレス：　https://global-kashiba.mahoroba.club/

編集発行　：　グローバル香芝　広報部
連 絡 先　：　〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所　地域振興課課
電話　：　0745-44-3314　Fax：0745-78-3830